



研修農場新聞

2面拡大号

(公財) 農林水産振興財団
八王子研修農場
(発行責任者)
農場長 小寺孝治 (無料)

第4期生は営農を開始、第5・6期生は真剣に研修に取り組む

令和7年度 スタート

夢と希望に向かって頑張れ!

この4月から、第4期生は2年間の研修を終え都内各地で営農を開始。研修農場には新たに第6期生が入講し、第5期生とともに新規就農を目指して実践研修を始動。

考えながら実践を重ねて欲しい

第4期生の研修成果報告会が3月14日に立川庁舎講堂で行われた。そこでは今後生産を予定している作物の栽培実証や経営的な評価等が報告され、行政や普及センター等から有益な助言等もいただき、大変有意義な報告会であった。報告の中では皆さん自分の農業経営理念や収支予想、将来構想等を語っており、信念をもって営農していかうことにとても心強く、頼もしく誇らしさを感じた。

そして3月21日には、第4期生の修了式が厳かかつ華やかに行われた。理事長からは「財団では皆様のチャレンジを今後も全力でバックアップしていく。皆様の就農の成功を祈念している。頑張っ



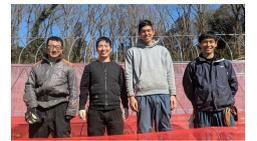
修了した第4期生の5名 (上)
修了式後に参加者全員で記念写真 (右)



てください」と熱いエールが送られた。修了生はこの4月から都内各地で営農を開始した。就農後は慌たしい日々が続くと思うが、将来も見据え、健康を第一に消費者や地域に喜ばれる

第5期生も奮起

先輩たちの背中を見てきた第5期生(2年生)も、既に就農モデルでの実証栽培が始まっている。4月から農家派遣研修や講義等で大忙しだが、皆1年の時とは別人のように積極的に取り組んでいる。就農までに何でも試せる大切な年。いつ、どこに、どんな商品を、どんなお客様に、幾ら位で売っていくのかをコミュニケーションしながら、失敗を恐れず、常に考えながら実践経験を重ねて欲しい。



第6期生入講式

令和7年度第6期生入講式が4月7日に立川庁舎講堂で行われた。新しい研修生は、20から40代の5名。寺崎理事長からは「ご入講おめでとうございます。ぜひこの2年間で農業経営に必要な基礎から実践まで幅広く学び、経験を積みながら、自分の経営スタイルを確立してほしい。2年後には新規就農し、東京農業を支える新たな担い手として活躍されることを祈念している」と歓迎の挨拶をい

ただいた。また、ご来賓には東京都農林水産部の渋谷課長や東京都農業振興事務所長の山宮所長、東京都農業会議の築田専務理事にお越しいただき、皆様から「ご入講おめでとうございます。東京で新しい農家になるため、専門的な知識やスキルをしっかりと身につけてほしい。都の農業も人手不足皆さんのような方に東京農業を背負っていく人材に育ってほしい。就農後も様々な支援事業等で全面的にサポートしていくので、先ずはしっかりと研修をしていただきたい。東京農業の新たな担い手として決意されたことに感謝。皆様の挑戦を心より応援している」な



入講式にあたり寺崎理事長から祝辞をいただく (上)
入講式後に参加者全員で記念写真 (左)

ど、心温まる祝辞をいただいた。

これまでの天候

1月は平年に比べやや温暖な日が続いた。2月は寒波の影響が強く前半は例年よりやや低かったが最終週より温暖な日が続き、ほぼ例年並みの天候、雨は少なく乾燥気味。3月は寒暖差があり例年並みに推移したが、後半には統計史上初の真夏日が3回あり、月末は気温が急低下するなど天候が大きく変化した。

職員の異動

(転入) 清水 遼、山之内利治。(アシスタント職採用) 鯉沼真里、近藤将司。(転出) 小野寺 洋史。(臨職退職) 木

研修生の今

3月末、就農直前の第4期研修生から、今後の抱負等を語っていただいたので一言紹介したい。

磯田さん…カリキュラムの充実した2年間の研修により、農業経営に必要なことをたくさん学べました。研修に関わってくれた全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、アカデミー卒業生としての誇りと責任を胸に、しっかりと農業経営を行って参ります。

加藤さん…アカデミーの関係者はじめ、地域の方々にも感謝してもしきれない程のご支援をいただきました。就農後は、結果を出すこと

1~3月の主な出来事

- (1月)
 - ・6日 仕事始め、7日 理事長挨拶、8日 農業振興事務所長来所
 - ・14日 日の出町役場訪問、17日 立川研修生交流会
 - ・24日 武蔵村山市農地調整、25日内定者説明会、30日農機展示会
 - ・フードバンク 14、15、19、24、26、29日
- (2月)
 - ・5日 北海道森町来所、6日 大型特殊免許実地試験(府中)
 - ・7日 特別講義、12日 作付計画発表(1年)、14日 ミニ直売
 - ・17日 経営計画発表(1年)、18日 ハウス設置研修
 - ・フードバンク提供 7、10、12、14、17、21、26、28日
- (3月)
 - ・7日 所内成果報告会、11日 農業振興事務所とJA中央会挨拶
 - ・12日 武蔵村山農地調整、13日日の出町調整、14日 成果報告会
 - ・17日 理事長賞、21日 第4期生修了式、27日 理事会
 - ・フードバンク提供 7、10、12、14、24、26、28日

これが最大の恩返しだと思っ
ているので、アカデミーの後
輩にも繋がるように努力
していきます。

熊川さん…農家としてのス
タートラインに立たせて頂
きありがとうございました。
これまで学んだことだけで
なく、自分の人生経験など
も活かしながら地域や日本
の食と健康を守る農家とし
て貢献してまいります。

佐藤さん…充実した学びの
2年間を送ることができま
した。関わって頂いた方々
への感謝を忘れず、地域社
会から必要とされるような
農業経営を目指します。ま
た一人の農業経営者として
も、常に向上心を持って学
び続け、立川を代表する農
家になれるよう努力して
いきます。

横山さん…待ちに待った農
業経営をめいっばい楽し
みます！この2年間で多く
のことを学び、経験するこ
とができました。日々試行
錯誤し、1日でも早く武蔵
村山市の農業を支えられる
人材になります。不安もあ
りますが、楽しみながら成
長していきます！

第5期生の抱負など
太田さん…ありがたいこと
に地域の農家さんがよそ者
の僕のために畑やお家を探

してくださっている。最大
限感謝すると共に。就農後
に上手く行くことが一番の
恩返しだと思つので、アカ
デミー在学中にできるだけ
失敗をして、自分と向き合っ
て理想的な作付け計画と理
念を作っていました。

高橋さん…就農後をイメー
ジして栽培方法・経営計画
を考えていきたい。就農地
域の情報収集を進め、特に
「秋川どうもろこし」やあ
きる野産シヨウガに関する
知識を深めたい。農機具・
資機材等の準備を整え、効
率的かつ安定した農業経営
を目指したい。

丹治さん…就農地域で何を
するか自分に何ができるか
を固め、自信を持って就農
するために毎日を臨んでい
く。就農後をイメージして
考えた計画をもとに主体的
に動き、挑戦と失敗を通し
て知識・技術・経験をしつ
かり身にする一年にする。

田中さん…僕は販売先を八
王子の学校や保育園の給食
向けに考えています。その
為は何日に播種したものか
何日で収穫できるか、一人
で収穫できる量ほどのくら
いかを把握することで、就
農してから子供たちに美味
しい野菜を届けられるかを
学んでいきます。

第6期生の抱負など

石谷さん…プロ農家になる
ための知識や経営者になる
ための頭脳や体力等を作り
上げていきたい。農家の楽
しさを人に伝えていけるよ
う何でも吸収していきたい。
挫折しそうな時だったり、辛
い時は遠慮なく職員の方々
の肩を借りさせて頂きます。

大柳さん…サラリーマン人
生に区切りをつけて、都市
農業を支える第二のキャリ
アを築きたいと思えます。
選考から漏れた方の分まで
責任を持ち、技術と計画を
磨き、中年世代のロールモ
デルを目指して2年間全力
で取り組みます！

澤田さん…近年減少してい
く農業の分野において、若
い世代に興味をもってもら
えるように様々な工夫をし
て東京での農家人口を少し
でも増加傾向に変えていけ
るような取り組みをしてい
きたいと思えます。

立山さん…アカデミーでの
2年間、私は再現性の高い
栽培計画、実践的な知識、
技術を習得し、独立就農に
向けた資金・農地の確保や
販売先の開拓についてもしつ
かりと準備を進めていきたく
いと考えています。
安留さん…東京農業アカデ
ミーでの学びを通して、実



第6期生の5名
入講式後に記念撮影
1～2年後の顔付きが
楽しみですね

以上、修了生や現役研修
生の抱負等を聴き、改めて
一人一人の課題にも向き合
い、協力・連携しながらしつ
かりと対応していきたい。

各種SNS情報

研修農場では、研修状況
等をエックスやフェイスブッ
ク、インスタグラム、ユー
チューブで配信しています。
ぜひ「東京農業アカデミー
八王子研修農場」と検索し
てみてください！フォロー
もよろしくお願いします！
なお、直売情報をいち早
くお知らせするためLINE
Eでの配信も行っています。
友だち登録はトーク検索で
「東京農業アカデミー八王
子研修農場」を選択又は左
下QRコードより可能。

ホームページ

**研修農場
スナップ**

2025年 1～3月



研修農場では養液栽培トマトで
東京都エコ農産物認証を取得



2年次と将来の作付け計画についてプレゼンする5期生



今年は自然エネルギー利用の踏み込み温床づくりにも挑戦



成果報告会を終えて、ハットした4期生と記念撮影



あきる野市の大福氏から
ナスの接ぎ木研修を受ける



冬の間に、春に定植用の苗づくりに精を出す5期生。
写真は1枚のチェーンポット播種



毎年、ハウスづくりの実習を行っているため、多
くの卒業生がハウス設置も自ら行っている。



令和7年度がスタートし、研修生と職員みんなで
記念撮影(R7.4.8)



府中運転免許試験場にて大特(農耕用)免許の
取得。今年度の合格率は9割だった。



ジャガイモの植え付け、みんなスピード感あり、
上手に植え付けていた。



今年は3月に2度の降雪があった。トンネルが
つぶされ除雪作業。写真は3月19日の降雪。